

厚 総 政
平成20年10月10日

国土交通省道路局長 様

北海道厚沢部町長 渋 田 正 己



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付国道企第37号にて依頼のありました標記について、別紙のとおり提出いたしますので、よろしくお取り計らい願います。

(総務政策課政策振興係)

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道厚沢部町

- ① 道路整備に当たって事業評価によることは理解できるが、全国一律での考え方では地方が疲弊することとなる。
地方において真に必要な道路は、直接住民生活に影響することから、B/Cのみで判断すべきでないものとする。
- ② 広域分散型社会を形成し、自動車交通への依存度が高い北海道にあつては、社会資本である道路の整備は不可欠であり、地域振興や社会経済活動の活性化を支援する上で、最重要課題である。
また、道路は国民生活における基本を成すものであり、道路の整備・維持管理は、国の責任において実施すべきものとする。
- ③ 多数の橋梁を持つ町村にあつて、橋梁の長寿命化施策は莫大な費用を要することから、国の手厚い支援策が必要である。
- ④ 道路の維持管理は、適切に行うべきである。特に歩道の草刈りや除雪、さらには、排水路の整備等は、安全性や環境衛生面に加え、観光立国を目指す上で、美観を損なうものである。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②－１ 地域の現状と抱える課題

北海道厚沢部町

○ 現状 当町を横断する一般国道２２７号は、函館圏と檜山地域を結ぶ唯一の主要幹線道路であり、産業、経済はもとより生活道路として広く利用され、交通量の多い重要路線である。 基幹病院である道立江差病院は、診療科目を減じ、産婦人科までもが廃止されるなど、医療を函館圏に依存している当地域においては、通院の外年間２００件ほどの救急搬送があり、地域医療を確保する上での最重要路線である。 特に冬期にあっては、日陰による一部アイスバーンや積雪、さらには、急カーブもあるなど通行に支障を来している。 また、大雨等により道路が寸断されるなど、交通機能がストップする事態も生じている。	○ 課題 安全で安心して通行でき、時間短縮が可能となるための国道２２７号及び道道などの道路網の整備
--	---

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②－２ 地域の目指すべき将来像

北海道厚沢部町

道路網などの社会資本整備がなされた上で、高齢者等が安全で安心して暮らせる環境づくりを進めるとともに、移住・交流等による滞留人口の拡大を図り、まち全体が活力溢れ、厚沢部に「住んで良かった」、「住んでみたい」、「いつまでも住み続けたい」と思えるような『素敵な過疎づくり』を目指す。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価

北海道厚沢部町

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
・ 地域活力の向上 ・ 総合的な交通安全対策及び危機管理の強化 ・ 少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	・ 一般国道 227 号の改良整備（狭小トンネルの解消、線形改良、拡幅等）	・ 北海道新幹線新函館駅のアクセスが容易になり、本州との地域間交流が図られる。 ・ 農林水産物等の搬出時間が短縮される。 ・ 大雨災害や駒ヶ岳の噴火等における主要国道 5 号の迂回道路としての活用 ・ 時間短縮と交通安全の確保が図られる。 ・ 医療を函館圏に依存している当地域において、救急搬送はもちろん妊婦検診や出産のほか通院時間の短縮が図られる。	
・ 総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	・ 道道八雲厚沢部線の改良整備	・ 道央圏へのアクセス道路として、時間短縮と交通安全の確保が図られる。	
	・ 函館新外環状道路の早期着工、早期完成	・ 函館空港へは市街を通らなければならず、渋滞等により相当の時間を要するが、大幅な時間短縮が図られる。	